



# カタカタ通信 第58号

## 「渡り鳥がやってきて」

2023年1月23日

冬本番になった頃、カモたちが北から渡ってきました。ただ喜んでばかりはいられません。鳥インフルエンザのニュースが耳に入ってくるからです。

ここ天空の里でも飼育ケージ内への野鳥の侵入に警戒しています。よく侵入しようとするのはスズメです。飼育ケージ内の草の実などを求めてか？どこからか入ってくる可能性があります。侵入を発見次第隙間を塞ぐため、どこから入ってくるのか観察カメラでスズメの行動を確認します。ここは通れないだろうと思うような小さな隙間でも、スズメは通ってきます。材質にもよりますが、25mmほどの網目のネットでも頑張っって入るとい話を聞いたこともあります。

スズメの侵入経路は、細かいネットや垂木（たるき）でおさえて塞いでいきます。作業中は当たり前ですが、コウノトリたちがいます。花はやや神経質なところがあるため、作業時間は2時間以内と決めて、時間がかかりそうなときは数日に分けて作業を行いました。高い位置の隙間も、地面の隙間も何度も補強して万全の状態です。日々スズメと戦うしみじいであった。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター  
飼育担当：しみじい



隙間 発見！



内側から隙間を塞ぎました



作業中です